



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <http://www.jalco-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 松島 正道

TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	807	51.7	480	79.9	300	83.0	258	80.0
2019年3月期第2四半期	532	188.9	267		164		143	61.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 249百万円 (76.2%) 2019年3月期第2四半期 141百万円 (58.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.02	2.72
2019年3月期第2四半期	2.69	2.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	26,412	8,965	33.6	103.76
2019年3月期	19,496	8,726	44.3	100.94

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,871百万円 2019年3月期 8,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	51.1	1,250	94.3	1,000	130.6	800	95.6	9.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	85,672,318 株	2019年3月期	85,522,318 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	178,028 株	2019年3月期	428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	85,558,811 株	2019年3月期2Q	53,329,523 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度の3月に取得した3物件及び当第1四半期連結会計期間に取得した収益不動産、並びに新規営業貸付金の増加に伴い売上高8億7百万円（前年同期比51.7%増）、営業利益4億80百万円（前年同期比79.9%増）、経常利益3億円（前年同期比83.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円（前年同期比80.0%増）となり、いずれも前年同期比を大きく上回る結果となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりでございます。

〈貸金事業〉

当事業部門におきましては、収益性及び担保価値等を十二分に吟味し、回収可能性等を慎重に検討した上で取り組んでおります。貸付期間については、1年以内の短期の貸付を中心に行っているため、期中における営業貸付金残高は増減致します。

当第2四半期連結累計期間において営業貸付金は、新規貸付37億71百万円、回収17億16百万円、純増20億55百万円により35億96百万円（前期末比133.4%増）まで増加しました。

営業貸付金の増加に伴い、当事業部門における売上高は、1億98百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は1億21百万円（前年同期比13.7%増）という結果となりました。

第3四半期以降におきましても、収益性及び担保価値等が十二分に見込める複数の貸付先において、資金需要が旺盛にあるため、ソーシャルレンディング事業を絡めて、資金需要に対応していく所存でございます。

〈不動産賃貸業〉

当事業部門におきましては、当第2四半期連結会計期間において岡山県の商業施設を新規取得し、収益不動産の保有残高は204億57百万円（前期末比23.4%増）となりました。前連結会計年度の2019年3月に取得した3物件及び第1四半期連結会計期間に取得した1物件も寄与し、当第2四半期連結累計期間において、当セグメントにおける売上高は6億8百万円（前年同期比73.9%増）、セグメント利益は2億12百万円（前年同期比71.2%増）となりました。

当社としては第3四半期以降も引き続き、長期・安定的な収益貢献が見込める案件については積極的に購入してまいります。

当社の収益不動産については、収益性の観点から購入依頼のご要望も多いことから、保有資産残高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を考慮しながら、収益不動産の入れ替えも図ってまいります。

また、慎重に見極めながらではありますが、売上高及び利益の増加に繋がる物流施設用不動産等の開発案件も手掛けていき、収益の増加に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して30億14百万円増加し54億4百万円となりました。これは主に、営業貸付金が20億55百万円、物流施設用不動産取得のための仕掛販売用不動産が5億52百万円、グループ間の配当により発生した未収還付法人税等が1億74百万円及び現預金が2億48百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して39億3百万円増加し209億98百万円となりました。これは主に、山口及び岡山の商業施設向けの賃貸用不動産が39億6百万円増加したことなどによります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して69億16百万円増加し264億12百万円となりました。

(負債)

前連結会計年度末と比較して当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金等が48億64百万円増加し67億53百万円となり、固定負債は長期借入金が15億97百万円、新規賃貸借契約により長期預り保証金が2億15百万円増加したことなどにより18億13百万円増加し106億93百万円となりました。

借入金については主に収益不動産購入に伴う借入であります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して66億77百万円増加し174億47百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して2億38百万円増加し89億65百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による自己株式34百万円の増加及びその他有価証券評価差額金8百万円の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円を計上し、かつ、新株予約権行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ12百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2億48百万円増加し、6億56百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、23億35百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2億97百万円及び減価償却費92百万円を計上した一方、営業貸付金20億55百万円、仕掛販売用不動産5億52百万円及び法人税等の納税により2億12百万円の支払いがそれぞれされたことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、37億59百万円の支出となりました。これは主に、不動産取得により39億52百万円を支出した一方、新規賃貸先から保証金として2億15百万円が入金されたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、63億43百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金の純増47億円、長期借入金の借入による収入20億及び新株予約権の行使による株式の発行による収入23百万円を計上した一方で、長期借入金の返済により2億72百万円、借入金の新規借入により初期費用73百万円及び自己株式の取得により34百万円を支出したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、2019年5月10日発表「2019年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想数値から変更はございません。

第3四半期以降におきましても営業貸付金及び収益不動産の増加が見込め、それに伴う売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の純増が見込めるため、業績予想数値は変更致しません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,421	798,880
信託預金	161,596	147,099
営業貸付金	1,541,000	3,596,000
仕掛販売用不動産	—	552,719
未収入金	2,089	7,249
未収収益	10,238	1,726
未収消費税等	113,271	88,212
未収還付法人税等	2,473	174,750
その他	17,594	59,085
貸倒引当金	△8,520	△20,850
流動資産合計	2,390,164	5,404,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,418,846	1,414,894
信託建物(純額)	1,738,872	2,891,566
工具、器具及び備品(純額)	3,208	2,341
土地	9,764,962	10,845,817
信託土地	3,708,913	5,351,915
有形固定資産合計	16,634,804	20,506,534
無形固定資産		
ソフトウェア	27,908	27,602
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	28,192	27,886
投資その他の資産		
投資有価証券	189,827	180,936
破産更生債権等	171,730	171,730
長期未収入金	87,767	85,340
差入保証金	24,268	24,516
長期前払費用	77,204	101,001
繰延税金資産	96,790	113,461
その他	44,198	44,335
貸倒引当金	△259,498	△257,070
投資その他の資産合計	432,289	464,251
固定資産合計	17,095,286	20,998,673
繰延資産		
株式交付費	10,990	8,992
繰延資産合計	10,990	8,992
資産合計	19,496,442	26,412,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,150,000	5,850,000
1年内返済予定の長期借入金	449,292	579,316
未払法人税等	49,522	70,993
前受金	80,392	86,361
信託前受金	18,690	18,921
匿名組合預り金	121,411	121,397
その他	20,340	27,007
流動負債合計	1,889,648	6,753,998
固定負債		
長期借入金	8,211,969	9,809,671
長期預り保証金	561,250	776,832
信託預り保証金	106,592	106,592
その他	407	335
固定負債合計	8,880,220	10,693,432
負債合計	10,769,869	17,447,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,274,877	4,286,923
資本剰余金	5,439,112	5,451,158
利益剰余金	△1,064,962	△806,589
自己株式	△50	△34,845
株主資本合計	8,648,976	8,896,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,673	△25,564
その他の包括利益累計額合計	△16,673	△25,564
新株予約権	94,269	94,028
純資産合計	8,726,572	8,965,110
負債純資産合計	19,496,442	26,412,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	532,358	807,676
売上原価	91,248	149,128
売上総利益	441,109	658,548
販売費及び一般管理費	173,821	177,754
営業利益	267,288	480,793
営業外収益		
受取利息	—	64
受取配当金	8,172	7,884
為替差益	5,745	—
受取賃貸料	3,208	3,208
貸倒引当金戻入額	—	2,427
その他	456	944
営業外収益合計	17,582	14,530
営業外費用		
支払利息	97,627	133,645
賃貸不動産経費	752	746
為替差損	—	2,547
借入手数料	15,832	51,686
株式交付費償却	—	1,998
貸倒引当金繰入額	5,796	—
その他	859	4,631
営業外費用合計	120,867	195,255
経常利益	164,003	300,068
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	164,003	300,068
匿名組合損益分配額	1,790	2,121
税金等調整前四半期純利益	162,212	297,947
法人税、住民税及び事業税	38,500	56,244
法人税等調整額	△19,843	△16,670
法人税等合計	18,657	39,573
四半期純利益	143,555	258,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,555	258,373

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	143,555	258,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,977	△8,891
その他の包括利益合計	△1,977	△8,891
四半期包括利益	141,577	249,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,577	249,482

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	162,212	297,947
減価償却費及びその他の償却費	52,287	92,216
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18,759	9,902
受取利息及び受取配当金	△8,247	△7,949
支払利息	97,627	133,645
借入手数料	15,832	51,686
信託預金の増減額(△は増加)	△2,322	14,496
売上債権の増減額(△は増加)	△1,515	8,512
営業貸付金の増減額(△は増加)	△2,281,497	△2,055,000
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	—	△552,719
その他	126,815	27,453
小計	△1,820,049	△1,979,810
利息及び配当金の受取額	8,247	7,949
利息の支払額	△95,305	△153,890
法人税等の還付額	2,432	2,369
法人税等の支払額	△97,377	△212,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,002,052	△2,335,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,742	△3,952,937
無形固定資産の取得による支出	△5,000	△5,720
差入保証金の差入による支出	△600	△497
預り保証金の受入による収入	—	215,582
長期前払費用の取得による支出	△700	△3,826
その他	△11,864	△11,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,906	△3,759,334

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,690,000	4,700,000
長期借入れによる収入	4,303,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△635,419	△272,274
社債の発行による収入	200,000	—
社債の償還による支出	△200,000	—
借入手数料の支払額	△19,910	△73,142
匿名組合員からの出資払込による収入	121,000	121,000
匿名組合員への出資払戻による支出	△106,100	△121,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	913,607	23,850
自己株式の取得による支出	—	△34,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,886,178	6,343,638
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△150,780	248,459
現金及び現金同等物の期首残高	457,043	407,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	306,262	656,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第3回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が12,045千円、資本準備金が12,045千円それぞれ増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,286,923千円、資本剰余金が5,451,158千円となっております。

また、2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式177,600株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が34,794千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が34,845千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	181,904	350,053	531,957	400	532,358	—	532,358
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	181,904	350,053	531,957	400	532,358	—	532,358
セグメント利益 又は損失(△)	106,947	124,383	231,331	△7,553	223,778	△59,775	164,003

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費並びにM&A事業に係るデューデリ費用等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△59,775千円は、内部取引消去62,089千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,864千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	198,616	608,700	807,317	359	807,676	—	807,676
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	198,616	608,700	807,317	359	807,676	—	807,676
セグメント利益 又は損失(△)	121,648	212,883	334,531	△2,088	332,442	△32,374	300,068

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△32,374千円は、内部取引消去85,184千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,558千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。